

シティプロモーション×オープンデータ利活用による
次代の市民参画活動の推進プログラム

「シビックパワーバトル」

シビックパワーアライアンス実行委員会

2018年6月1日

背景

全国の自治体では、まちの魅力を広域に発信するためにさまざまな取り組みを行っている。近年、**市民がまちを愛する気持ち（シビックプライド）が重要**だともいわれている。

ただ現状では、各自治体でばらばらに取り組んでいたり、市民不在で自治体だけで魅力発信を進めていたり、かけるコストや労力に見合う効果が出ていないという課題もある。

そこで**今まで埋もれていた、または知らなかつたまちの魅力をオープンデータを活用しながら発掘し、地域の魅力発信につなげたい。**それを**市民や団体、企業とともに**行い、**同様な悩みを抱える複数自治体が集まる**ことで、あらたな魅力発信の仕組みづくりをしたい。

**住民が、自らの住むまちの魅力をプレゼンでバトルしあう
「シビックパワーバトル」という手法を考案**

空きページ

シビックパワーバトル公式ページ
<https://www.civicpowerbattle.org/>

この中にもリンクがありますが、ダイジェスト版の
YouTubeページは以下のURLです。

<https://youtu.be/6nVb06FNEqY>

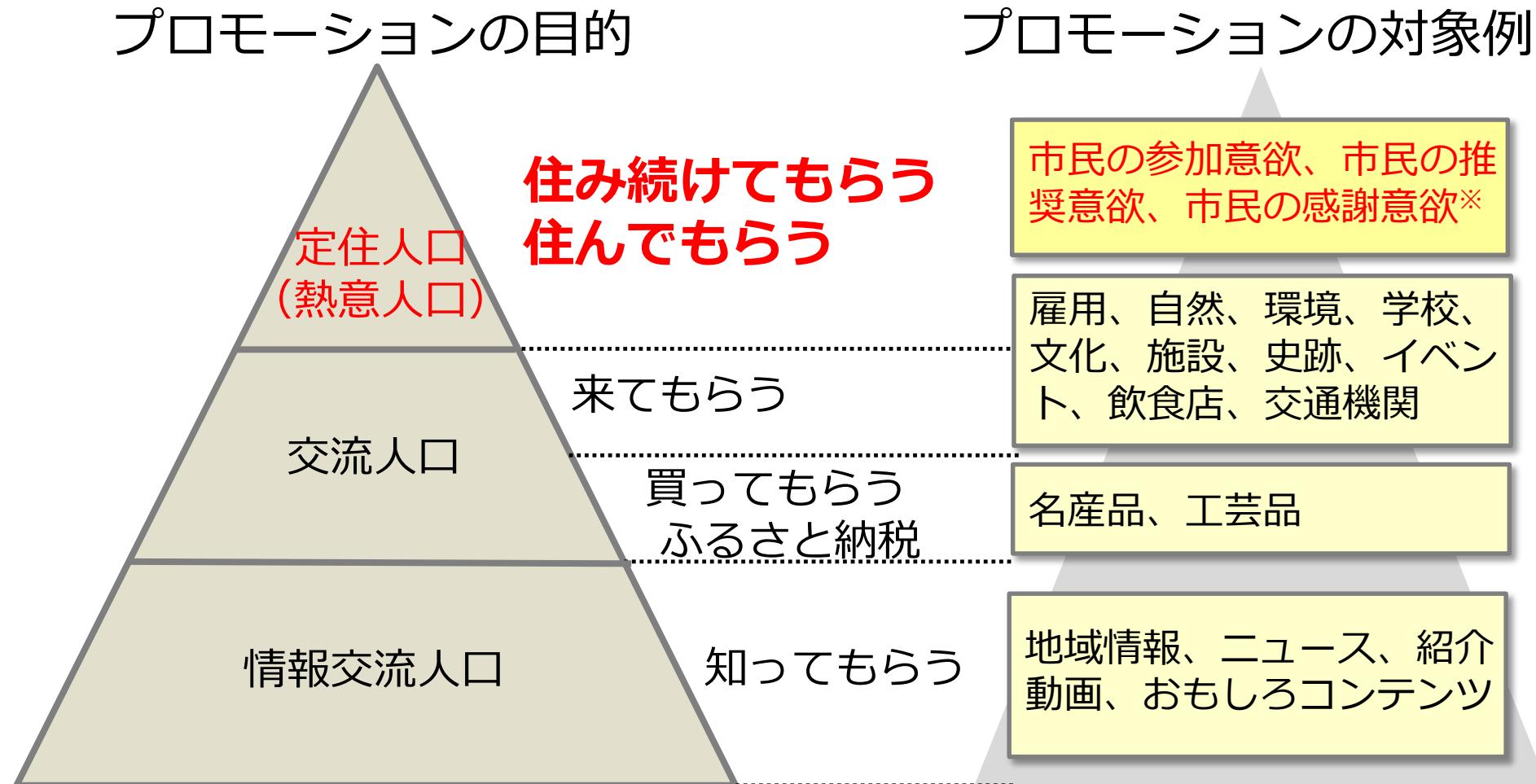
シティプロモーションの動向

自治体の財源の不足、人口減少／高齢化などの問題を前にシティプロモーションは変化をしている。行政職員と住民、さらにその地域のファンによるプロモーションが効果的と言われている。

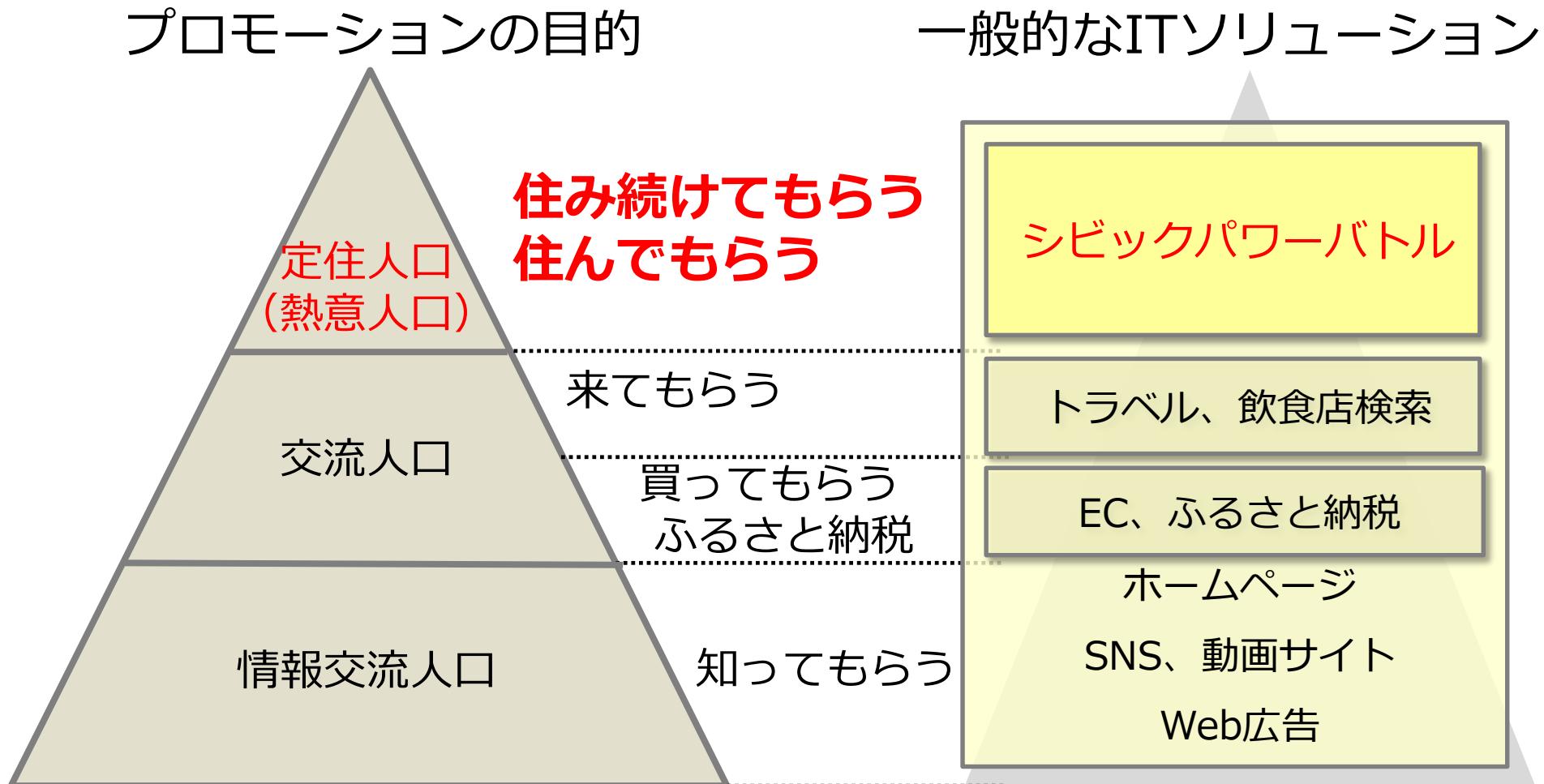
#	項目	シティプロモーション1.0※	シティプロモーション2.0※	シティプロモーション3.0※
1	実施する人	行政職員	(主に) 行政職員 +住民+域外ファン	行政職員+住民+域外ファン
2	主なメディア	オウンドメディア	オウンドメディア+ソーシャルメディア	
3	コンテンツ	前例や他地域事例を使ったコンテンツが多い	新たな魅力のコンテンツが掘り出されやすい	
4	継続性	予算や補助金が切れると終わりやすい。 行政職員への依存度が高い。	次年度以降も継続できる。 行政職員に依存しない。	
5	勝ち筋	他自治体に勝って選択される。	正しく評価されて選択される。	
6	ゴール	定住人口の増加	定住人口+住民の熱量 +域外ファンの熱量	
7	指標	絶対評価	絶対評価+相対評価	

※シティプロモーション1.0～3.0は、シビックパワーライアンス実行委員会が提唱している。

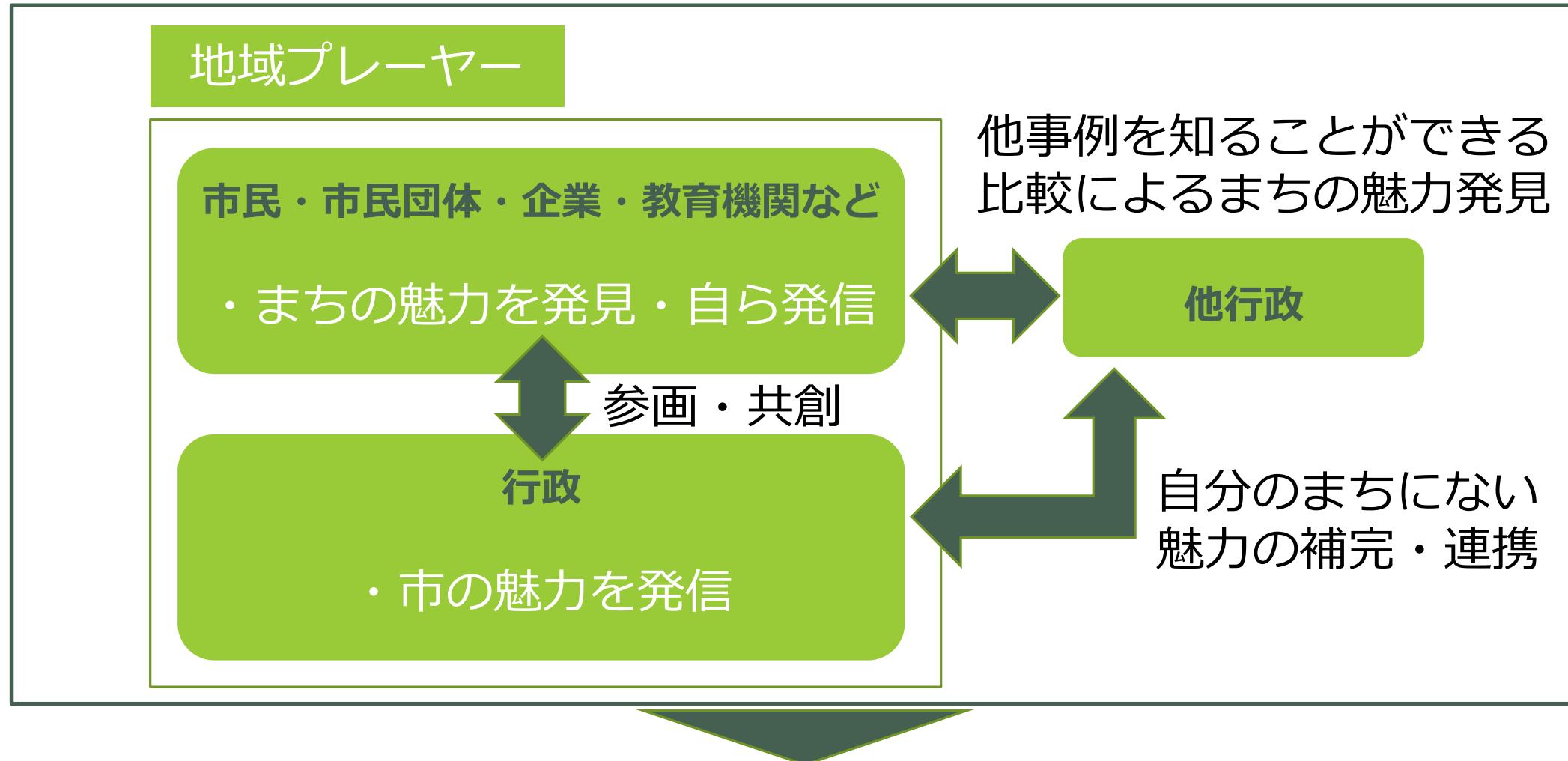
シティプロモーションの段階



シティプロモーションの段階



ビジョン



本プログラムによって得られるもの

シティプロモーション理論の実践的ワークショップとなります

1. 有効なシティプロモーションを行える。
2. オープンデータの利活用を体験できる。
3. シビックプライドの醸成を図れる。
4. まちを愛する住民との共創が体験できる。

本企画では以下の3点を重視しています。

① 単なる街のプレゼンテーションではなく、
行政間で連携した「参加自治体による戦いの場」とする

- ✓ 合同シティプロモーションとして、自治体単独ではしにくいPRをする
- ✓ プレゼンにより血の出ないバトル／全都市にとってPRになっている状態を目指す

② オープンデータを活用したプロモーションを前提とする

- ✓ 街の面白さをデータを用いてPRする
- ✓ 今まで埋もれていた都市の魅力をデータを活用することにより発掘する
- ✓ 本イベントを通じてオープンにすべきデータが何かを検討するきっかけにする

③ 行政と市民団体、企業および市民が協働し、
まちづくり共創につなげる

- ✓ Code for ○○、市民団体、街にある企業、の協力で運営する
- ✓ 新しいプレーヤーの発掘につなげる
- ✓ 民間が主体となり行政が支援する形で進める

第1回シビックパワーバトル



2017年度開催概要

- 日時

2017年9月23日（土・祝）13:00～17:00

- 場所

Yahoo! LODGE

- 主催

シビックパワーバトル実行委員会
(本イベントの趣旨に賛同する市民、団体、企業などで組織)

- 観覧者

- 現地の観覧者（各都市10名程度、招待客、一般客、スタッフ、メディア関係者などで100名超）
- ライブ配信観覧者（最大同時視聴者52名、リモート投票あり）

- 後援・協力

総務省、参加自治体（流山市、横浜市、さいたま市、千葉市、川崎市）

- 協賛

Yahoo! JAPAN株式会社

表彰

ふるさと名品オブ・ザ・イヤー2017 IT×地方創生部門 銀賞



表彰対象：
流山市、さいたま市、横浜市、
千葉市、川崎市

VLED (オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構) による表彰 融合研究所賞

http://www.vled.or.jp/news/1803/180305_001494.php



表彰対象：
シビックパワーバトル実行委員会

シビックパワーバトル千葉6区対抗戦 IN IODD2018





稻毛区、花見川区、中央区、緑区、美浜区、若葉区の6区対抗

●各区共通のテーマ：

「住む」

●自由テーマ：

「働く」「遊ぶ」「学ぶ」「育てる」「老いる」を選択

場所：きぼーる 1F アトリウム（千葉県千葉市中央区中央4-5-1）

主催：シビックパワーバトル 千葉市6区対抗戦実行委員会

後援：千葉市

共催：NPO法人 Code for Chiba / ペンギン不動産 / ちば〇〇部

協力：株式会社omegane / シビックパワーアライアンス実行委員会

シビックパワーバトル大坂夏の陣（準備中）



シビックパワーバトル大坂夏の陣（準備中）概要

名称	シビックパワーバトル2018 大坂夏の陣
日程	2018年8月25日（土）13:00～17:00
場所	ヤフー株式会社 大阪グランフロントオフィス
主催	シビックパワーバトル2018 大坂夏の陣実行委員会
テーマ	規定テーマ：「暮らす」 選択テーマ：「つながる」「かがやく」「おもしろい」
参加自治体	6地域 生駒市、尼崎市、神戸市、枚方市、京都市左京区
講評者(案)	河井 孝仁氏（東海大学文学部広報メディア学科教授） 関 治之氏（Code for Japan代表理事） 兼松 佳宏氏（勉強家） 福山 広樹氏（ヤフー株式会社 エリア・オンライン営業本部 本部長）

川崎シビックパワーバトル（準備中）

「平成30年度川崎市都市ブランド推進事業」として選定

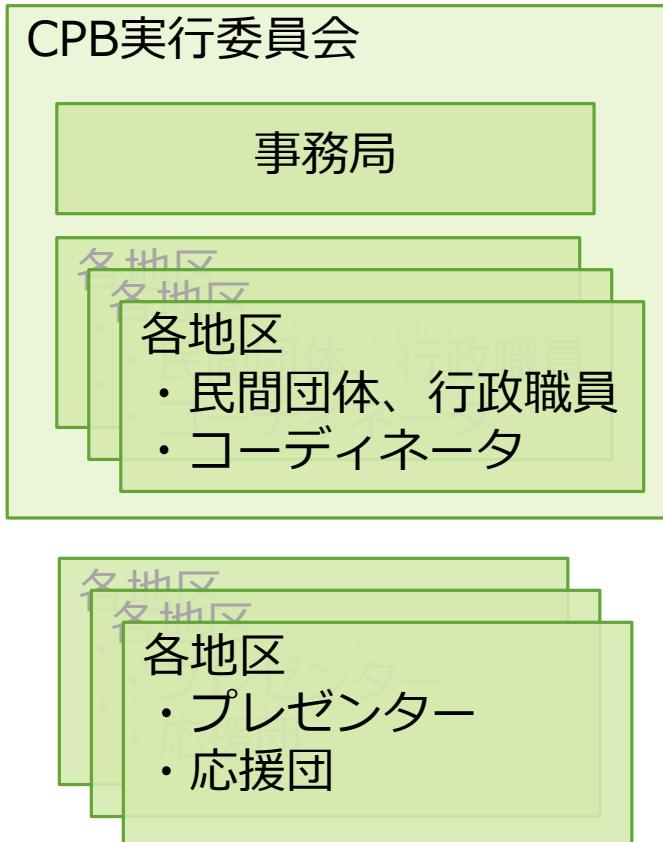
<http://www.city.kawasaki.jp/170/page/0000097015.html>

まちの魅力を自慢し対決する「シビックパワーバトル」の川崎バージョンである「川崎シビックパワーバトル」を開催。シビックパワーバトルは市民や団体、企業が主体となり、オープンデータ等のデータを活用し、今まで埋もれていた、または知らなかつたまちの魅力を発掘し、地域の魅力発信を目的としたイベント。

その「愛」は
本物か？

シビックパワーバトルの運営方法

運営組織と名称



#	組織名	役割
1	実行委員会	CPBを運営する主体（各地区の人員から構成）行政職員、民間団体で構成することが望ましい。
2	事務局	実行委員会内に作られ、実行委員会が円滑に機能させる。
3	コーディネーター	その地区の行政側と市民側両方に面を持ち、必要な調整を行う。応援団、プレゼンターのアレンジを行う。（各地区のハブとなる重要な役回り）
4	プレゼンター	バトル時にプレゼンテーションを行う。（テーマごとに別の方が行うことが望ましい）
5	応援団	その地区に属しプレゼンターを盛り上げる。
6	ディスラー	プレゼンターに対し反論を行う。
7	CPA ※詳細は後述	CPBの円滑な運営の支援、クオリティ確保、ブランディングを推進を行う非営利団体。

※CPA:シビックパワーアライアンス実行委員会

標準スケジュール（8月下旬をバトルとした場合）

時期	項目	詳細
12月	開催発起	✓ ホストシティがイベント開催の要望をCPAに表明 ✓ 日時・場所等を仮決定
2月中旬	参加地域探索・決定	✓ 本趣旨に賛同し、参加する地域（ゲストシティ）を募る（計4～6地域程度が望ましい） ✓ 各地でコーディネーター選出、実行委員会立ち上げ ✓ 事務局側で全体実行委員会の運営等決定
4月初旬	第1回実行委員会	✓ 企画概要決定（テーマ、プログラム等） ✓ 各地でプレゼンテーションを検討開始 ✓ イベントのプロモーション方法を検討
6月中旬	第2回実行委員会	✓ イベントの告知を本格化 ✓ プrezentationとバトルの骨格を決める
7月中旬	第3回実行委員会	✓ シナリオをつくり全体バランスを確認 ✓ 動きや流れの確認
2週間～10日前	プレゼン最終版提出	
8月下旬	本番	
9月下旬	第4回実行委員会	✓ 反省会・費用清算

費用

標準的には以下の項目にて費用が発生します。

項目	内容
会場費	
撮影・配信費	ライブ配信画像はそのままアーカイブになります。アーカイブを残すことを強く推奨します。
広報費	イベント特設Webサイトの作成・運用・公式SNSの運営 (CPAからの提供) 印刷物の作成や個別PR等 (各地域で任意で行ってください)
謝礼・交通費	当日の審査員・講評者・MCへの謝礼・交通費
管理費	本プログラムの運営にかかる費用 (CPAからの提供)
消耗品費	筆記用具、コピー代、盛り上げ用演出費

※CPBは実行委員会形式とし、負担を小さくし、できるだけコストも低く抑えることを目指しています。

よくある質問

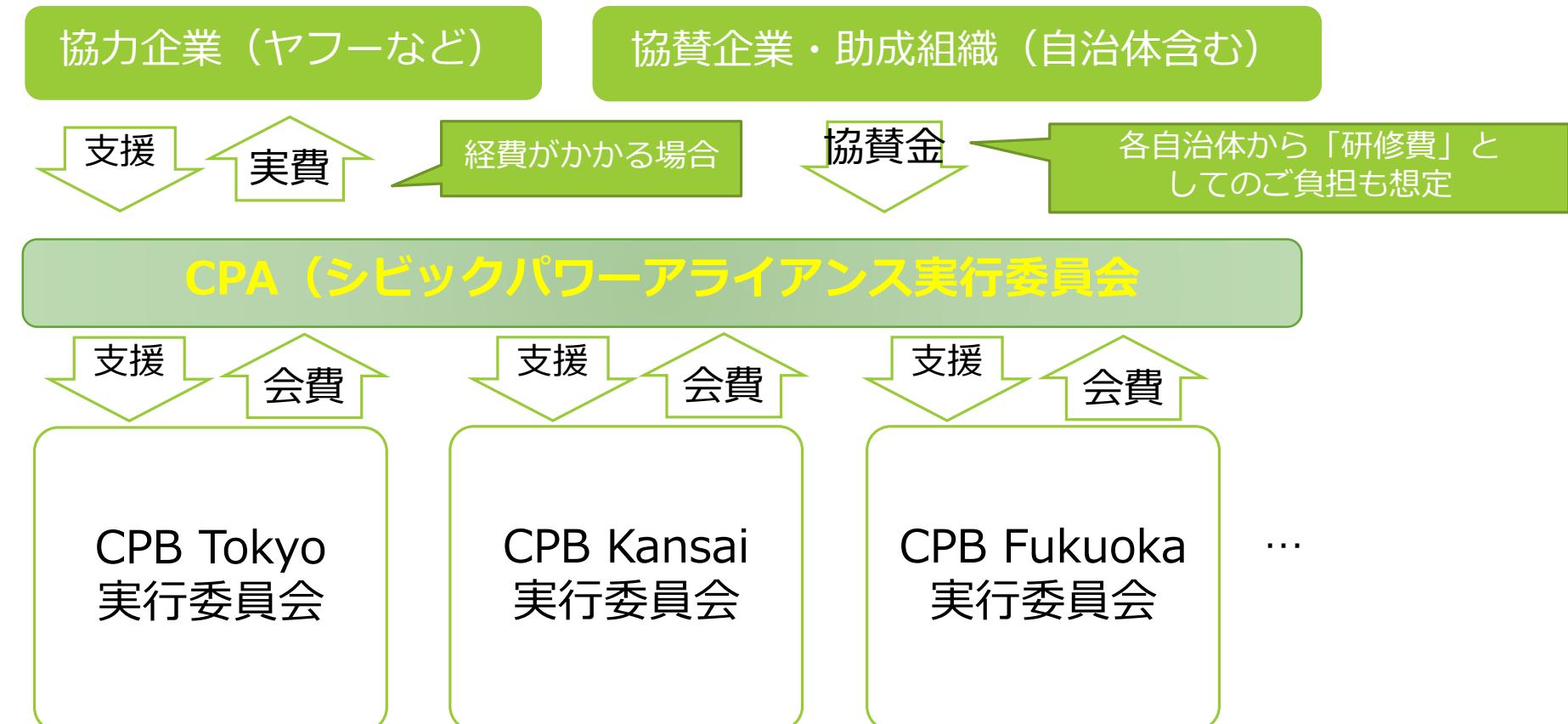
#	質問	回答
1	行政職員にはどのくらいの負担がかかりますか？	行政職員の方にはできるだけ入っていただきたいのですが、市民協働という目的もあるので、初動に集中しその後は市民団体にお任せするスタンスを取ることができます。 ※実行委員会に入ることはできますがその自治体が後援となつた場合、立場的に複雑になる可能性があります（職員ではなく個人として入っていただいた事例はあります）。
2	CPBに参加するにあたりどのくらいの費用がかかりますか？	実行委員会で検討をしていただければと思います。 「費用」のページを参考にしてください。
3	ICTの知識のある団体を巻き込めない場合はどうしたらよろしいでしょうか？	Code for ○○などの組織がある地域では、比較的巻き込みやすいと思われます。 もし、まったく見当がつかない場合は、CPAにご相談ください。
4	地域の代表となる団体はどのように選べばよいでしょうか？	地域にて予選を行うこともできますが、大きな負担になりますので、元気のある団体に直接依頼をしている例が多いと思われます。
5	オープンデータ施策があまり進んでいない自治体でも参加することはできますか？	これを機会にオープンデータ施策を始めることができますし、国や県が公開しているデータ、あるいはRESAS（地域経済分析システム）などは無料で使うことができます。
6	大都市と、中小都市では勝負にならないのでは？	テーマによっては戦うことができると思います。規模や人数で戦うとどうしても大都市が有利になつしまうので、「老いる」や「育てる」などのテーマを実行委員会で決め、得意な土俵で戦うことを提案することができます。
7	実行委員長や事務局と各地域のチームを兼務することはできますか？	実行委員長や事務局は中立的な姿勢が要求されるので、チームのメンバーとして参戦することは困難です。その他の実行委員（コーディネーターを含む）は参戦は可能です。

その「愛」
は本物か？

シビックパワーバトル
推進組織について

CPB推進組織の位置づけ・事業モデル

- ・ CPAは、各地の実行委員会主体のイベント開催を支援
- ・ 活動やイベント開催に必要な資金をプールし、イベント参加費やライセンスで回収
→回収分を新規開催の仕込みに回し、徐々に全国展開を図る



CPB推進組織（CPA）の機能

シビックパワーバトルは、CPAが管理しています。イベントの円滑な運営の支援、クオリティ確保、ブランディングを推進します。

- ① イベント方法論の確立・マニュアル作成、版権管理
- ② 各地域での開催支援
- ③ 協力企業の調整・クオリティの確保
- ④ 活動資金・イベント運営資金の管理
(補助金、協賛金、会費 等)
- ⑤ 公式SNS、公式ホームページでのプロモーション

その「愛」は 本物か？

シビックパワーアライアンス実行委員会
civicpowerbattle@googlegroups.com
担当：河尻、土屋、井上